

ビ

ー

だ

ま

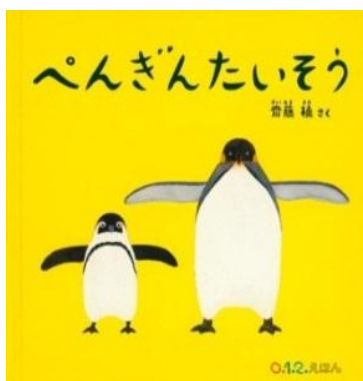
ビーだまのように、キラリと光る一冊を

2016年1月～12月に発行された本の中から、とくにおすすめの本を紹介します

<編集・発行> 富山市立図書館 富山市西町5番1号  
電話 076-461-3200  
平成29年4月23日発行（年1回発行）

## ペンギんたいそう

齋藤慎／さく 福音館書店



「ペンギんたいそう はじめるよ」  
大きいキングペンギンと小さいケーブペンギンが、はねを広げて並んでいます。2羽は、うでをぱたぱたさせたり、おしりをふったり、ユニークな体操をはじめました。

リズムカルな言葉に合わせて、一緒からだを動かしたくなります。

[赤ちゃん～]

## あーそーぼ

やぎゆうまちこ／さく 福音館書店



「あーそーぼ」と女の子が声をかけます。ぶたさんもおさるさんも、返事はいつも「あーとーで」。みんなはいつになったら遊べるのでしょうか。

わらべうた「ひとやまこえて」をもとにした、言葉のかけ合いが楽しい絵本です。

[幼児～]

## 人形の家に住んでいたネズミ一家のおはなし

マイケル・ボンド／文 エミリー・サットン／絵 早川敦子／訳 徳間書店

あるお屋敷の人形の家で、ネズミの一家が幸せに暮らしていました。家はお城のようにりっぱで、食べ物にも困りません。ところがある朝、大切な家がトラックで運び出されてしまいました。

13匹の子ネズミたちのようすや部屋の間取りなど、すみずみまで眺めて楽しめます。

[幼児～]



## ピーレットのやさいづくり ちいさなこどものためのやさいばたけのおはなし

ウルリカ・ヴィドマーク／文 イングリッド・ヴァン・ニイマン／絵  
高橋麻里子／訳 岩波書店



小さな女の子が、野菜づくりに挑戦します。畑を耕し、種をまき、水やりをして芽が出るのを待ちます。芽が出たら、つぎは草取り。畑を荒らす動物の退治も仕事のうちです。

大人の手を借りずに、仕事をやり遂げる喜びが伝わってきます。

[幼児～]

## トルーシー・トルトルとトラ

ヘレン・ステイーヴンズ／作 ふしみみさを／訳 BL出版



トルーシーのパパは、どろぼうです。動物園に行く時も、パパは盗んだ物を入れるため、大きな袋をかついでいきます。

トルーシーが注意しても、パパは笑うばかり。2人の様子を見ていたトラは、おりの外へ出ると、パパを捕まえてしまいます。

[幼児～]

## すずめくんどこでごはんたべるの？ マルシャークの詩より

たしろちさと／ぶん・え 福音館書店

おなかがすいたすずめくんは、動物園の動物たちのごはんをつまみ食い。かばからはイモ、きつねからは果物をもらい、わにのところでは自分が食べられそうになっちゃった！

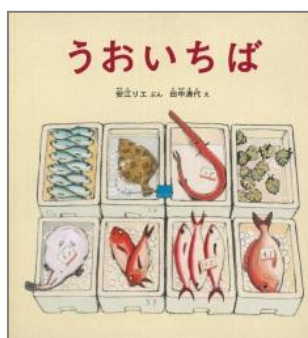
すずめの行動を追いながら、動物たちの食べ物や生活の違いを知ることができます。

[幼児～]



## うおいちば

安江リエ／ぶん 田中清代／え 福音館書店



きよは、早起きをして家族がはたらく魚市場を見にいきます。市場では、色とりどりの魚や、えびや貝がずらりとならべられて「せり」にかけられていました。

獲れたての魚たちと活気のある魚市場の様子が、いきいきと描かれています。

[幼児～]

## ソーニヤのめんどり

フィービー・ウォール／作 なかがわちひろ／訳 くもん出版



ソーニヤは、お父さんにもらった3羽のひよこを大切に育てています。やがてひよこは、りっぱなめんどりになりました。ところがある夜、鶏小屋からおそろしい物音がして…。

小さな女の子が、大切ないのちと向き合う様子を描いた物語。

[幼児～]

## おばあちゃんのあかいマント

ローレン・カスティーヨ／さく たがきょうこ／やく ほるぷ出版

おばあちゃんが住む都会が好きになれない男の子。おばあちゃんは、赤い毛糸で編んだマントを着せてくれます。すると、なんだか勇気がわいて、街の様子を見てみたくなりました。

マントがあると、今までは怖かった人ごみやにぎやかな音を楽しく感じるようになります。

[幼児～]



## 小さなサンと天の竜

チェン・ジャンホン／作・絵 平岡敦／訳 徳間書店



けわしい山向こうに畑があるため、サンの両親は毎日大変な思いをしていました。山を動かそうと決心したサンは、毎日岩をくだき、石を村はずれに運び始めます。

中国の伝統的水墨画の手法を用いた、迫力ある絵本です。

[幼児～]

【 担当：宮崎（本館：資料係） 】